

科目名	社会学入門 ―われわれの社会のしくみを解剖する―			ナンバリング	GEN213	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	菊池真弓	担当教員					

授業の概要	「社会」とは何か。私たちは普段の生活のなかで「社会」を意識することはない。しかし私たちは、他者と人間関係を取り結び、日々の活動の成果としてさまざまな制度を作り上げるなかで「社会」を作り上げている。社会生活がグローバル化するなかで、社会のしくみも複雑化し、イメージしづらくなってきている。この授業では、自分の身の回りで生じている出来事を手がかりに「社会」の存在を発見していくこと、そして社会学の概念を用いて現代の社会生活の状況と社会のしくみについて説明できるようになることが目的である。						
到達目標	1. 社会学的な理論や方法論、社会学の潮流について説明することができる。 2. 家族、地域社会、社会システムの基本的な視点を学び、それらの現状と課題について説明することができる。 3. 現代社会における社会問題の現状と課題について説明することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	私たちを取り巻く身近な人と人との関係、集団との関係、現代社会に起こっている様々な問題とその対策など、新聞やテレビなどの情報に基づき、社会の動向に関心を持ち、授業に臨む。また、毎回の授業でリフレクションシートの記入する。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 社会学的な理論や方法論について説明することができる。 2. 家族、地域社会などの集団の概念について説明することができる。 3. 現代社会における社会問題の現状と課題について説明することができる。	1. 社会学的な理論や方法論を社会学の潮流に位置づけて説明することができる。 2. 家族、地域社会などの集団の概念から、現代社会の現象を分析・考察できる。 3. 現代社会における社会問題の現状と課題について、具体的なデータや事例に基づき分析・考察することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					70%
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		20%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	1.毎回の質問や感想などについては、次回の授業でコメントする。 2.ミニ・レポートについては、評価基準を示した上で、返却する。
---------------	--

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	社会学とは(ガイダンス)	「社会学とは何か(社会学的な視点・方法)」について説明できる。	
	第2回	個人と集団(1)	「社会的行為と社会関係」について説明できる。	
	第3回	個人と集団(2)	「社会生活と社会集団」について説明できる。	
	第4回	家族とは(機能と役割)	「現代家族の変容と課題」について説明できる。	
	第5回	地域社会とは(農村・都市・コミュニティ)	「都市化と地域社会」について説明できる。	
	第6回	社会学の潮流と社会システム	「社会学の成立・確立・展開」について説明できる。	
	第7回	法と社会システム	「法と社会規範・社会秩序、逸脱」について説明できる。	
	第8回	経済と社会システム	「社会的分業、社会的交換、組織と官僚制」について説明できる。	
	第9回	社会問題と社会学	「社会問題の構造、諸領域からの異議申し立て」について説明できる。	
	第10回	現代社会の変化とジェンダー	「ジェンダーとは、男女共同参画社会」について説明できる。	
	第11回	人口構造と人口問題	「社会構成、人口現象、人口問題」について説明できる。	
	第12回	社会変動と社会運動	「社会変動、産業化・工業化、都市化」について説明できる。	
	第13回	情報化と国際化	「情報化、メディア、国際化とグローバル化」について説明できる。	
	第14回	生活構造	「生活の質、ライフスタイル、ライフスタイル」について説明できる。	
	第15回	社会政策・社会計画・社会福祉	「社会政策・社会計画・社会福祉」について説明できる。	
	試験	試験を実施する。教科書・配付プリント・自筆ノートは持ち込み可とする。		
授業の進め方		①教科書・配布プリントに従って授業を進める。②毎回、小レポートを提出してもらう。③最終試験を実施する(教科書・配布プリント・自筆ノートを持ち込み可とする)。		
授業外学習の指示		【予習】授業の教科書(該当章)を熟読し、疑問点を明らかにしておくこと(90分)。【復習】教科書・配付プリントを復習しながら、理解できなかったところについてはさらに調べること(90分)。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	久門道利・杉座秀親編『社会理論と社会システム[第3版]』弘文堂,2018年,2,500円,9784335611902
参考書	適宜、授業内で紹介する。
参考URLなど	適宜、授業内で紹介する。
その他	